

中学生及び後期課程生アンケート結果

令和2年3月に策定した「第2期占冠村まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、中学生の占冠村への愛着度（令和6年度）を4.6点（5点満点）以上とすることを数値目標として設定しています。

現時点での地域愛の把握とともに、今後の施策の推進に当たっての具体的な希望などを把握するため、昨年度に引き続き、アンケートを実施いたしました。

■結果の概要

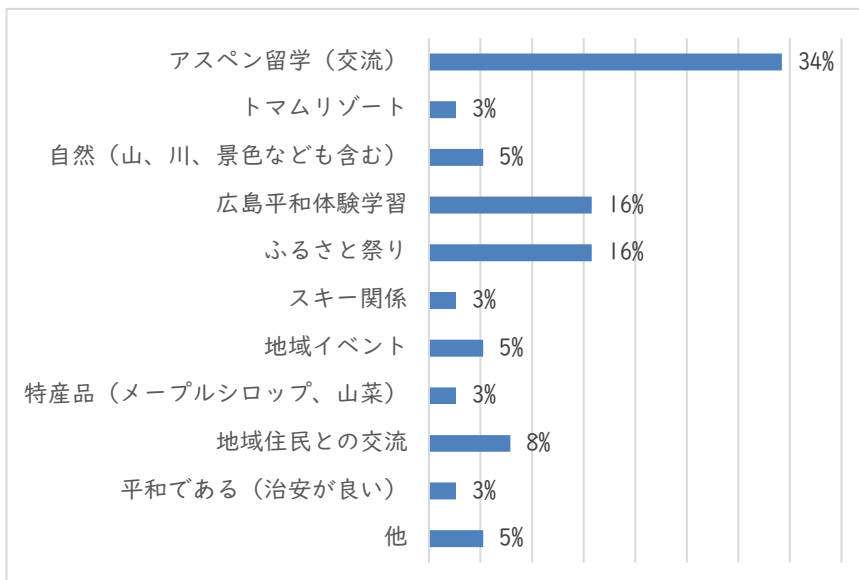
回答数19 回答率86.4%

■占冠村への思い

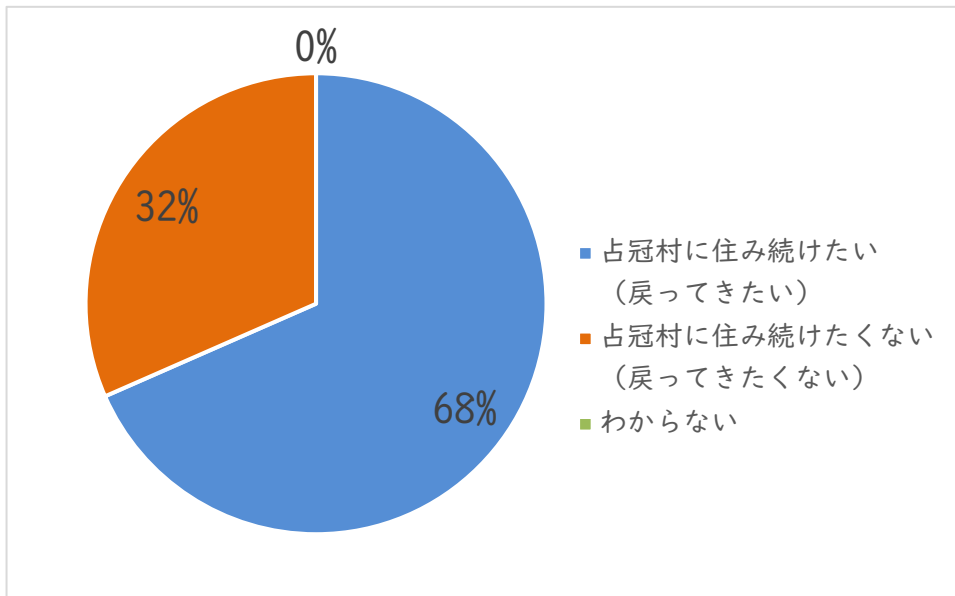
占冠村の愛着度は4.4点であり目標値からやや下回っています。

①山や川などの自然環境	4.7点
②治安がよく、安心して暮らせる	4.7点
③通学路などの道路の安全や通行のしやすさ	3.4点
④電車・バス・道路などの村外との交通の便	2.6点
⑤日常の買い物	2.9点
⑥学習環境	4.2点
⑦スポーツ活動	4.1点
⑧放課後の過ごし方	4.1点
⑨国際交流	4.9点
⑩地域の人たちとのつながり	4.8点
⑪イベント、伝統文化	4.6点
⑫暮らしやすさ	3.9点
⑬占冠村への愛着度	4.4点

■占冠村の魅力



■ 占冠村に住み続けたいかどうか



【住み続けたい】

- 都会より安心して暮らせる
- 高速道路が近く移動しやすい
- 家賃が安い
- 村に恩返しをするため。一度、村で働いてみたい
- アспен関係に関わりたい
- 子どもたちが学ぶのにふさわしい地域である
- 空気がおいしく地域の人が優しい

【住み続けたくない】

- 都会に住んでみたい
- 出会いがない
- 交通や買い物が不便
- 新しいものや場所が少ない
- 就きたい職業がない

■ 地域の人とのかかわり

地域の人があいさつをしてくれたり、優しく話しかけてくれたり、困ったときに助けてくれたりしたことがうれしいなど、地域の人とのかかわりに関する回答が大半を占めていました。

■ 将来の占冠村はどんな村であってほしい？

- にぎわってほしい（都会ほどではなく）。人々が楽しめる場所のある村
- きれいな自然が保たれ、地域住民がのんびりと暮らせる村
- 子どもが不便なく楽しめて村民同士のつながりの深い村
- 若者の働く場所がある村

- 少ない人口でも村民の交流があり、ともに協力して助け合う村
- 優しい村あってほしい。村の人の気持ちがあたたかい村
- 伝統を大切にしつつ、新しいことをやってみることができる村
- 自然豊か。森林を守り続ける村